

# 審判勉強会 報告書

<日時> 令和5年8月19日(土)13:00~16:00

<場所> 下関アクティブセンター

<講師> 田中康行 先生(日バ公認審判員資格審査認定委員)

<後援> 山口県バドミントン協会

(日バ登録者：参加料・教本、無料。未登録：参加料500円・教本600円)

(会場費・講師交通費等も県協会が負担)

<参加者> 28名 (うち一般2名)

<内容>

~13:10 受付

13:10~14:55(会議室)座学

講師紹介・挨拶

教本を見ながら最近変更になった部分などを確認

\*日バの略称がBJに(←NBA)

\*アンダーラップはハンドル(グリップ)からはみ出さない

\*イン・アウトで迷った時はたいていイン

\*今年6月よりスピンサーブが禁止に(台を最初に打つ、羽根を打ってはダメ)

\*サービス高1.15mは採用中(シャトル全体が1.15mより下で)

\*レシーバーが不利になっているサーブはフォルト

\*打点がネットより打者側であれば、その瞬間ラケットがネットを越えても○

\*シャトルがネット(ポスト)の上を越えなければフォルト

(バレーボールのマーカ外イメージ) ただし主審の判断、選手は決められない

\*不品行な振舞いはフォルト(遅延行為・相手に対し『イン、イン!』)

\*選手の動向だけが得点に関係する(コーチや観客の影響を受けた時はレット)

\*トスは先にコートに揃った方にコインの裏表を決めてもらう

\*マッチ開始のアナウンス「レディース アンド ジェントルメン」

オンマイレフトの前に「アンド」、

ダブルス時は選手の間にも「アンド」

\*線審のイン・主審のレフェリーを呼ぶ時は右手

(主審がチャレンジを要求する時は左手をあげる)

\*選手が出血した場合は、処置が終わるまで待つ

\*バドミントンはプレーヤーのためのものである

14:55~15:10 休憩・コート準備

15:10~15:50(アリーナ)実技

(持参:スコアシート・ボード・ストップウォッチ・シャトル)

\*コールやサーブのフォルトを中心に、主審の練習

15:50~16:00 片付け・挨拶・閉会

### <感想>

次の週にミニ国体があるのでその前に勉強をと参加された方も多数居られた。

参加された皆さん、良かった！楽しかったと。

最近変わったルールを知れたり、普段何気なくやっている事がフォルトだったり、色々とうやむやだった所が確認出来て良かった。

サーブに関する質問で盛り上がった。

今回は初めて田中さんが講師で、他の講師と違う視点もあり参考になった。

